

『日本労働研究雑誌』 総目次

2015年1～12月号 (No. 654～665)

(提言)

横行する違法労働の有効な抑制策は？	……………角田 邦重 654
労働経済学研究のこれから	……………三谷 直紀 656
両立支援ケアマネジャーの育成を	…佐藤 博樹 658
福利厚生 の位置づけの見直しを	……………西村 周三 659
研究開発の仕事	……………潮木 守一 660
労使関係の背骨は「生産性三原則」	…高木 剛 661
外国人労働者受け入れ議論を考える	……………中村 二郎 662
募集・採用段階における応募者のプライバシー	……………山田 省三 663
最高裁判決と立法	……………中窪 裕也 664
調査法は大切、でもしよせんは道具	……………今野浩一郎 665

(論文)

〈違法労働〉	
労働形態と法規制	……………野川 忍 654
法を守る動機と破る動機——規制と違法のいたちごっこに関する試論	……………飯田 高 654
違法労働の発生要因と従業員の主観的ブラック企業認識——職場の特性や HRM に着目して	……………小林 徹 654
「違法労働」の国際比較	……………小倉 一哉 654
「違法労働」監視制度の国際動向	……………鈴木 俊晴 654
違法労働に関する法的対応——規範・主体・手法の概要と課題	……………坂井 岳夫 654
「違法労働」と労働政策	……………山川 隆一 654
〈2014年労働政策研究会議報告〉	
(メインテーマセッション——正社員の多元化をめぐる課題)	
正社員の多元化をめぐる課題——労働法の視点から	……………池田 悠 655
正社員の多元化を巡る同床異夢——労働条件のコミットメントとキャリアのコミットメント	……………神林 龍 655

労働契約法改正の「意図せざる結果」の行方——小売業パート従業員の分配的公正感を手がかりとして	……………平野 光俊 655
正社員のキャリア志向とキャリア——多様化の現状と正社員区分の多様化	……………佐野 嘉秀 655
(自由論題セッション)	
大学生の労働組合認識とワークルール知識が就職活動に与える影響	……………梅崎 修・上西 充子 南雲 智映・後藤 嘉代 655
プロフェッショナルは自身の専門能力についてどれほど汎用性があると感じているのか？	……………西村 健 655
若年者就業率における賃金弾力性の推定	……………荒木 祥太 655
経営のグローバル化と労使関係——フォルクスワーゲン社の事例を手がかりに	……………首藤 若菜 655
限定正社員の実態——企業規模別における賃金、満足度の違い	……………戸田 淳仁 655
〈介護は労働に何を問うのか〉	
超高齢社会の日本における介護をめぐる法制度の現状と課題	……………稲森 公嘉 658
介護労働力不足はなぜ生じているのか	……………花岡 智恵 658
家族介護とジェンダー平等をめぐる今日的課題——男性介護者が問いかけるもの	……………斎藤 真緒 658
仕事と介護における「両立の形」と「企業に求められる両立支援」	……………矢島 洋子 658
ケアマネジャーによる仕事と介護の両立支援の現状	……………松浦 民恵・武石恵美子・朝井友紀子 658
〈雇用の変化と社会保険〉	
就業形態の変化と社会保険・企業福祉	……………駒村 康平・丸山 桂 659
健康保険制度における適用拡大の影響と課題	……………田極 春美 659
非正規雇用増加の要因としての社会保険料事業主負担の可能性	……………金 明 中 659

非正規労働者への被用者保険の適用拡大の在り方と法的課題	……………衣笠 葉子 659	……………小川 慎一 663
雇用保険の適用拡大と求職者支援制度の創設	……………金井 郁 659	情報通信技術 (ICT) が賃金に与える影響についての考察
被用者の健康状態の労働時間と医療保険間による差異——国民生活基礎調査によるアプローチ	……………泉田 信行 659	……………池永 肇恵 663
〈研究者のキャリアと処遇〉		ICT 高度化が就業者の仕事・家庭生活に及ぼす影響
大学院の変容と大学教員市場	……………浦田 広朗 660	……………坂本 有芳 663
若手の教育・研究者をめぐる労働法上の問題	……………浜村 彰 660	スマート化する職場と労働者のプライバシー
若手研究者の任期制雇用の現状	……………小林 淑恵 660	……………竹地 潔 663
理論物理学ポストドクターのキャリア形成の特徴と人材活用の方向性	……………岩崎久美子 660	労働者の秘密保持義務と競争避止義務の要件・効果に関する一考察
発明者の研究キャリア、モチベーションと処遇——発明者サーベイ調査から	……………長岡貞男・大西宏一郎 660	……………細谷 越史 663
研究開発プロセスのリーダーシップ——文献レビューと課題の提示	……………石川 淳 660	ICT/AI 革命下でのベッカー流人的資本理論の再考——自己変化能という視点から
研究者養成と研究のマネジメント——アメリカの経験から学ぶ	……………上山 隆大 660	……………中馬 宏之 663
〈労使コミュニケーション〉		IT からの挑戦——技術革新に労働法はどう立ち向かうべきか
日本の労使交渉・労使協議の仕組みの形成・変遷、そして課題	……………久本 憲夫 661	……………大内 伸哉 663
日本における集团的労働条件設定システムの形成と展開	……………荒木 尚志 661	〈労働研究と質的調査〉
経営協議会指針の意義と示唆	……………禹 宗 杭 661	労働研究におけるオーラルヒストリーの方法的可能性
フランスにおける労使対話促進の法政策の展開と現状	……………細川 良 661	……………山下 充 665
〈外国人労働の現状と課題〉		職業相談のアクションリサーチ——効果的な研修プログラムの研究開発
日本の外国人労働力の実態把握——労働供給・需要面からの整理	……………町北 朋洋 662	……………榎野 潤 665
国際的な資本移動と労働移動の関係——欧米における実証研究のサーベイ	……………友原 章典 662	グラウンデッド・セオリー・アプローチ——労働研究への適用可能性を探る
国際人口移動の選択肢とそれらが将来人口を通じて公的年金財政に与える影響	……………石井 太・是川 夕 662	……………若林 功 665
移民の子どもの教育の現状と課題	……………ハヤシザキ カズヒコ 662	ワークプレース研究と相互行為分析——2つの会議場面の分析を通じて
外国人労働をめぐる法政策の展開と今後の課題	……………早川智津子 662	……………山崎 晶子・山崎 敬一 田丸恵理子・小松 盟 665
〈情報通信技術の高度化と労働〉		質的調査データの二次分析——大正期「月島調査」と労働運動
情報技術と人事労務管理——2000年代以降を中心に		……………武田 尚子 665
		質的データ分析の基本原則と QDA ソフトウェアの可能性
		……………佐藤 郁哉 665
		(論文要旨)
		〈2014年労働政策研究会議報告〉
		特別号 (No.655) 全論文の論文要旨
		……………655 (自由論題セッション)
		韓国における若者雇用の現状と今後の課題——教育から労働市場進入前後における現状に対する考察
		……………金 明 中 655
		日本における人材育成の主要課題と政府の役割
		……………岩田 克彦 655
		母子自立支援員から見た母子家庭の母の経済的自立
		……………田中 恵子 655
		新卒採用における職場マッチング・職務適性——中小企業に着目して
		……………土居 雅弘 655
		結婚プレミアム——KHPS を用いた再検証
		……………孫 亜文 655

卓越したベテラン技術者のキャリア形成——建設業界
で働く15人へのインタビュー調査結果の分析
……………山崎 雅夫 655

企業内養成訓練の日仏比較——日本型は有効か
……………関家ちさと 655

社員の定着率を高める採用と研修——地方の自動車
ディーラーの事例 ……………山崎 正枝 655

母親の就業が子どもの健康を損なうのか——二人親世
帯と母子世帯の比較 ……………馬 欣欣 655

60歳代前半層（正社員・継続雇用者）に対する管理
職の評価行動の特質と課題——「現役（59歳）正
社員」との比較を通して
……………大木 栄一・鹿生 治行・藤波 美帆 655

働く人の公平感を高める要因の分析
……………高村 静 655

（紹介）

〈介護は労働に何を問うのか〉
介護職員のストレス ……………古川 和稔 658

〈雇用の変化と社会保険〉
人材派遣健康保険組合の設立の背景・経緯について
……………島崎 謙治 659

〈労使コミュニケーション〉
アメリカの労使コミュニケーション——2社の企業事
例に見るリーダーを核としたエンゲージメントの実
現 ……………石山 恒貴 661

〈外国人労働の現状と課題〉
技能実習制度の見直しとその課題——農業と建設業を
事例として ……………橋本 由紀 662

介護人材の不足と外国人労働者受け入れ——EPAに
よる介護士候補者受け入れの事例から
……………上林千恵子 662

外国人留学生の受入れとアルバイトに関する近年の傾
向について ……………志甫 啓 662

（論文（投稿））

失業と学校教育における人的資本形成——都道府県別
パネルデータによる計量分析 ……小川 一夫 656

労働組合の設立・解散の効果 ……外館 光則 656

喫煙行動と賃金の関係——パネルデータによる分析
……………孫 亜文 659

〈投稿論文特集 2015〉

選択的訴訟仮説と50%ルールの検証——我が国の整

理解雇訴訟について

……………小葉 武史・本多 康作 664

企業内部の苦情処理手続きの整備——手続きの公正性
を実現するために ……………長沼 裕介 664

（研究ノート（投稿））

大学生の就職活動における大企業志向は何が要因か
——企業別応募倍率の決定要因分析を通して
……………米田 耕士 658

〈投稿論文特集 2015〉

アメリカ合衆国における労働法の権利の実現方法につ
いて——行政機関による民事訴訟の提起の仕組みを
通じて ……………安部 愛子 664

（エッセイ）

〈似て非なるもの、非して似たるもの〉

【似て非なるもの——計量経済学の進展】

賃金関数の推定結果の解釈 ……………川口 大司 657

人的資本とシグナリング ……………佐野 晋平 657

固定効果と変量効果 ……………奥井 亮 657

多重回帰と操作変数法 ……………松下 幸敏 657

多重回帰分析と回帰不連続デザイン

……………安藤 道人 657

多重回帰とマッチング推定量 ……荒井 洋一 657

サンプルセレクションとセルフセレクション
……………末石 直也 657

所得格差と賃金格差 ……………安井 健悟 657

【似て非なるもの——労使の関係】

管理監督者と利益代表者 ……………新屋敷恵美子 657

管理者（マネジャー）とリーダー ……小野 善生 657

労使関係と雇用関係 ……………久本 憲夫 657

労働協約と労使協定 ……………桑村裕美子 657

労働委員会と労働審判委員会 ……鶴飼 良昭 657

産業別組合と産業別連合体 ……………禹 宗 杭 657

企業別組合とユニオンショップ ……鬼丸 朋子 657

【似て非なるもの——企業内マネジメントの局面】

人的資本と後払い賃金 ……………横山 泉 657

均等と均衡 ……………緒方 桂子 657

年俸制と裁量制 ……………池添 弘邦 657

MBOとPM ……………高橋 潔 657

キャリア・カウンセリングとキャリア・コンサルティ
ング ……………木村 周 657

コンピテンシーと職務遂行能力 ……渡辺 直登 657

PM と HRM	須田 敏子	657	労働法政策を比較法的視点から考える重要性	荒木 尚志	659
HRD と OD	中原 淳	657	国際競争力の低下とグローバルマネジャー	石田 英夫	660
短時間労働と短時間勤務	松原 光代	657	企業のガバナンスと労働者の発言——産業民主主義への 重要な前進	小池 和男	661
販売の仕事と営業の仕事	西澤 弘	657	高等教育における職業教育重視を考える	猪木 武徳	662
休日と休暇・休業	神吉知郁子	657	雇用政策の方向性——活気につながるキャリア政策	諏訪 康雄	663
配転と出向・転籍	新谷 真人	657	人材のポートフォリオと派遣労働	大橋 勇雄	664
出向と派遣	土田 道夫	657	ワークルール教育の重要性・難しさ	道幸 哲也	665
キャリア教育と職業教育	藤田 晃之	657			
学生と生徒	伊藤 茂樹	657			
【非して似たるもの——労使の関係】			(追悼)		
労働組合と従業員組織	田口 和雄	657	マークが託したこと——マークス・E・レビックの思 い出	玄田 有史	658
団体交渉と労使協議	土屋 直樹	657			
合同労組とコミュニティ・ユニオン	呉 学 殊	657			
【非して似たるもの——労働社会の構造】			(書評)		
摩擦的失業と構造的失業	宮本 弘暁	657	金子良事著『日本の賃金を歴史から考える』	アンドルー・ゴードン	654
ニートとひきこもり	西田 亮介	657	徐婉寧著『ストレス性疾患と労災救済——日米台の比 較法的考察』	上田 達子	654
【非して似たるもの——個別関係の局面】			古郡 鞆子・松浦司編著『肥満と生活・健康・仕事の格 差』	康 明逸	654
雇用契約と労働契約	和田 肇	657	西村淳著『所得保障の法的構造——英豪両国の年金と 生活保護の制度史と法理念』	嵩 さやか	654
事業主負担と被保険者負担	酒井 正	657	宮本光晴著『日本の企業統治と雇用制度のゆくえ—— ハイブリッド組織の可能性』	鈴木 良始	656
解雇税と退職金割増	奥平 寛子	657	原ひろみ著『職業能力開発の経済分析』	佐々木 勝	656
解雇と雇止め	池田 悠	657	翁貞瓊・禹宗杭著『中国民営企業の雇用関係と企業間 関係』	白木 三秀	656
退職金と企業年金	森戸 英幸	657	武田尚子著『20世紀イギリスの都市労働者と生活 ——ロウントリーの貧困研究と調査の軌跡』	祐成 保志	656
(学界展望)			山本寛著『働く人のためのエンプロイアビリティ』		
労働経済学研究の現在——2012～14年の業績を通じ て	小野 浩・酒井 正 勇上 和史・横山 泉	656	周燕飛著『母子世帯のワーク・ライフと経済的自立』	藤井 麻由	657
(ディアローグ)			姜聖淑著『実践から学ぶ女将(おかみ)のおもてなし 経営』		
労働判例この1年の争点	野川 忍・鎌田 耕一	664	西村純著『スウェーデンの賃金決定システム——賃金		
(座談会)					
労働調査で大切なこと——これからの質的調査に向けて	稲上 毅・石田 光男 八幡 成美・池田 心豪	665			
(労働政策の展望)					
日本の産業構造と外部人材	佐野 陽子	654			
仕事と介護の両立に向けて	袖井 孝子	656			
これからのキャリア・コンサルティングに求められる もの	木村 周	658			

交渉の実態と労使関係の特徴』……稲上 毅 658
 小路行彦著『技手の時代』……金子 良事 658
 西村純子著『子育てと仕事の社会学——女性の働きか
 たは変わったか』……船橋 恵子 658
 中原淳・溝上慎一編『活躍する組織人の探究——大学
 から企業へのトランジション』……金子 元久 658
 リリー・レッドベター、ラニアー・S. アイソム著/
 中窪裕也訳『賃金差別を許さない!——巨大企業に
 挑んだ私の闘い』……相澤美智子 659
 白木三秀編著『グローバル・マネジャーの育成と評価
 ——日本人派遣者880人、現地スタッフ2192人の
 調査より』……山本 紳也 659
 佐藤博樹・大木栄一編『人材サービス産業の新しい役
 割——就業機会とキャリアの質向上のために』
 ……鶴 光太郎 659
 筒井美紀・櫻井純理・本田由紀編著『就労支援を問い
 直す——自治体と地域の取り組み』
 ……酒井 正 659
 松山一紀著『日本人労働者の帰属意識——個人と組織
 の関係と精神的健康』……西田 豊昭 659
 渡辺深著『転職の社会学——人と仕事のソーシャル・
 ネットワーク』……安田 雪 660
 吉田輝美著『感情労働としての介護労働——介護サー
 ビス従事者の感情コントロール技術と精神的支援の
 方法』……久保 真人 660
 デヴィッド・ウェイル著『分断された職場——大衆
 の労働条件低下の原因とその改善策』
 ……仲 琦 661
 野村正實著『学歴主義と労働社会——高度成長と自営
 業の衰退がもたらしたもの』……矢野 真和 662
 高橋賢司著『労働者派遣法の研究』
 ……橋本 陽子 662
 山本勲・黒田祥子著『労働時間の経済分析——超高齢
 社会の働き方を展望する』……神林 龍 662
 山田信行著『社会運動ユニオニズム——グローバル化
 と労働運動の再生』……篠田 徹 663
 岩佐卓也著『現代ドイツの労働協約』
 ……緒方 桂子 663
 居神浩編著『ノンエリートのためのキャリア教育論
 ——適応と抵抗そして承認と参加』
 ……尾川 満宏 664
 上林千恵子著『外国人労働者受け入れと日本社会——
 技能実習制度の展開とジレンマ』

……中村 二郎 664
 森川美絵著『介護はいかにして「労働」となったのか
 ——制度としての承認と評価のメカニズム』
 ……藤崎 宏子 665

(読書ノート)

佐藤千登勢著『アメリカの福祉改革とジェンダー——
 「福祉から就労へ」は成功したのか?』
 ……原 ひろみ 658
 大森真紀著『世紀転換期の女性労働——1990年代～
 2000年代』……村尾祐美子 662

(論文 Today)

「多種多様な人の仕事の意義——理論フレームワーク
 の提示」……中野 浩一 654
 「フランスにおける労働裁判所改革の議論」
 ……小山 敬晴 656
 「産前産後休暇制度の拡充と母親の労働市場における
 アウトカム」……内藤 朋枝 657
 「21世紀に必要な能力はどのようなものか」
 ……安永 正夫 658
 「大学におけるインターネット講義は生の講義よりも
 優れているか? 実験的手法を用いた検証」
 ……中村 亮介 659
 「社員紹介による採用が企業にもたらす価値」
 ……深井 太洋 660
 「知覚された組織的支援の観点からのタスクパフォー
 マンスと創造性の説明」……佐藤 佑樹 661
 「職業能力不足解雇をめぐる問題」…古賀 修平 662
 「企業は人材配置の際、内部労働市場と外部労働市場
 をどのように組み合わせているのか?」

……小泉 大輔 663
 「父親とフレキシブルな育児休業」…鶴岡佳菜子 664
 「好調なスタートか? 産前産後休暇制度の拡充が子供
 に与えた影響について」……茂木 洋之 665

(フィールド・アイ)

米国からみた日本の家族と仕事の変化(米国から③)
 ……永瀬 伸子 654
 労働運動の「再生」(米国から①)…長松奈美江 656
 現代の労働組合運動(米国から②)…長松奈美江 657
 国際比較の視点からみる労働問題(英国から)
 ……長松奈美江 658

自転車泥棒とドイツ（ドイツから①）	ドから②)……………廣石 忠司 663
……………島田 裕子 659	福祉大国？——How about Social Welfare in NZ?
インターンと最低賃金法（ドイツから②）	（ニュージーランドから③）……………廣石 忠司 664
……………島田 裕子 660	英国におけるコーポレート・ガバナンス（英国から①）
ドイツのミュージアム従業員の賃金（ドイツから③）	……………八代 充史 665
……………島田 裕子 661	
今なぜニュージーランドなのか（ニュージーランドから①）……………廣石 忠司 662	（発表）
Tall Poppy Syndrome と格差社会（ニュージーランドから②）……………廣石 忠司 663	第 38 回（平成 27 年度）労働関係図書優秀賞 ……665
	第 16 回（平成 27 年度）労働関係論文優秀賞 ……665